

整形外科・消化器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 整形外科日常診療下における薬剤性胃・十二指腸潰瘍の発現頻度に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院整形外科・消化器内科

[研究責任者] 加藤 元嗣（光学医療診療部・臨床教授）

[研究の目的]

整形外科に通院中で、非ステロイド性鎮痛剤（NSAIDs）を長期投与されている患者において、NSAIDsの代表的な副作用である胃・十二指腸潰瘍の発現頻度を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

整形外科に通院中で、3ヶ月以上NSAIDsを内服中で、採血結果で貧血が指摘された患者さん。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、腹部症状、処方薬、検査結果（血液検査、内視鏡検査）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院光学医療診療部 担当医師 加藤 元嗣

電話 011-716-1161(5918) FAX 011-706-7867